

気持ちや行動が荒れやすい発達障害児へのサポート

10月21日（土）に「現代的学校教育の課題解決シリーズ 2017」の学び合う仲間による教員研修リレー講座の第8回が行われました。今回は、群馬大学教育学部教授の霜田浩信先生（障害児心理学）による、「気持ちや行動が荒れやすい発達障害児へのサポート」と題して、衝動性が強いタイプの発達障害児への支援、発達段階や場面やタイプごとの特徴、予防的な事前の支援、失敗・トラブルへの対処的支援、本人と周囲との関係性への支援など、学び合いが展開されました。参加者による具体的な質問等により充実した研修になりました。



<参加者の感想から>

- 実際に発達障害を抱える児童と毎日かかわっています。具体的な事例による本日の学びをすぐに実践に役立てていきたいと思えます。
- 発達障害を抱える子どもを担当するクラス担任で悩んでいる教員がたくさんいます。本日のような講義に、より多くの教員に参加してもらい、研修の機会が得られればと強く感じました。
- イライラスイッチに入らないようにするためにできることを、本講義で学んだ具体的な事例を基に、学校のクラス担任の先生たちと実践していきたいと思えます。
- 具体的にわかりやすい説明をしていただき、学校現場における課題対応や支援がイメージできました。また、発達障害と思われる子どもの保護者への対応で悩むことがあります。今度は、そのような事例への対応についても勉強したいです。
- 何度、先生の講義を聞いても、新たな学びがあります。
- 発達障害を抱えている子どもの特徴について、専門的な理解を進めていく必要性をあらためて実感しました。多くのヒントをえることができました。ありがとうございました。